

NIFS-AP News

2017.10
VOL.2

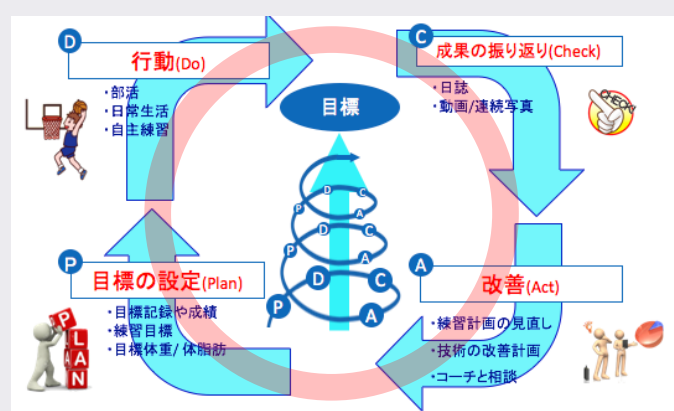
～鹿屋体育大での成長を可視化する～

- p.1 PDCAサイクル
- p.2 卒業までに身につけるべき
12の資質・能力
- p.3 学修ポートフォリオ
- p.4 学生の主体性

あっという間の大学生活・・・充実したものにするには？

夏休みが終わり後期がスタートしました。時間があっという間に過ぎてしまった・・・という人も多いのではないのでしょうか。ところで、大学に入学した目的や目標を忘れていませんか。改めて思い出したり、再設定するためにも、これまでの大学生活を振り返り、現状を把握し、残りの時間をどのように過ごし、どのように成長したいのか、考えてみましょう。また、目標を立て(Plan)、行動し(Do)、振り返り(Check)、改善していく(Act)、PDCAサイクルを回しているかも、自分自身で振り返ってみましょう。今後、本学では、学生の皆さんが大学生活をより充実させ、成長していることを確認できる仕組みを作り、サポートを行っていきます。Vol.2では、来年度から始まる予定の学修成果の可視化について紹介していきます。

実は体育大生は得意!? PDCAサイクルの回し方

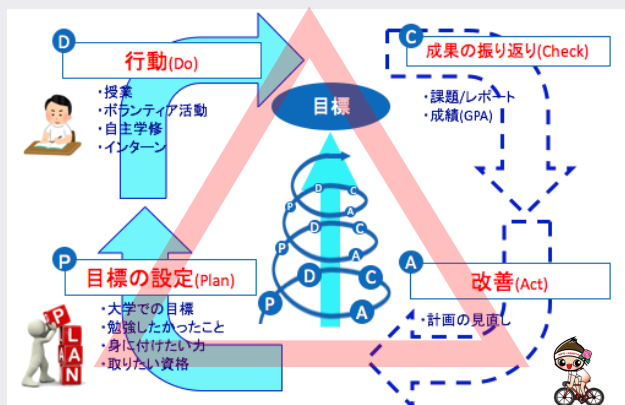


部活動のPDCAサイクル

左の図を覚えているでしょうか。Vol.1で出てきたPDCAサイクルの図です。今回は、部活動に合わせて内容を変更しています。多くの皆さんは日々、目標(Plan)に向かってトレーニングを行い(Do)、動画で動きを確認したり、日誌を書いたりしながら(Check)、技術の修正や、トレーニング内容の再考(Act)をしていると思います。まさに部活動で行なっているサイクルがPDCAサイクルであり、社会に出てからも非常に重要な取り組みです。PDCAサイクルを円滑、継続的に回せることは体育大生の強みとなります。

しかし・・・日々の学修(※)においてはPDCAサイクルを回しているでしょうか。特に授業で、学修の振り返り(Check)や改善(Act)をするところでは何を行なっているか、困っていませんか。そこで大学では、学生の皆さんが現在どれだけ授業を通して力をつけているかを簡単に確認(Check)できる仕組み、「学修成果の可視化」を行います。具体的には次のページで説明していきます。

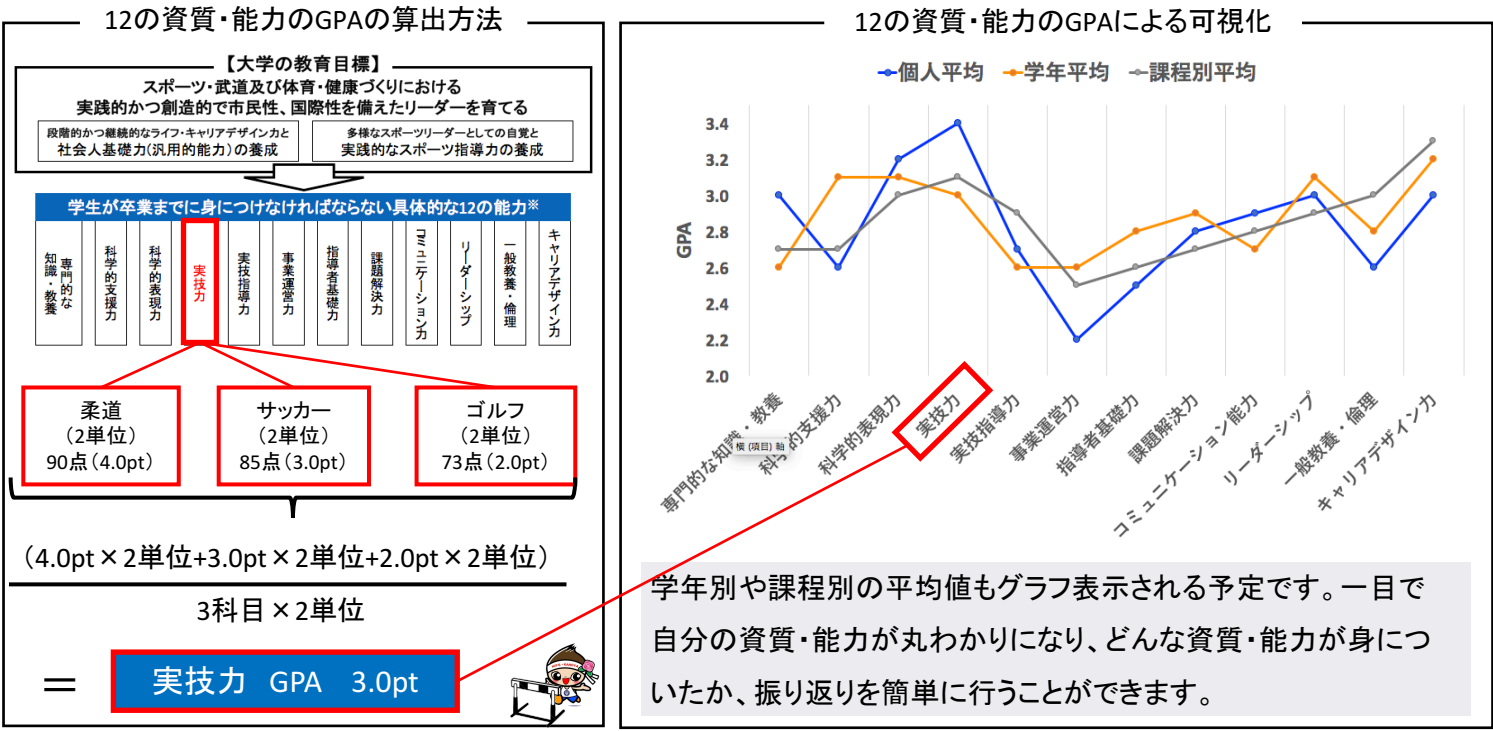
※学修とは・・・学問(知識や技能)を自ら進んで身につけることです。ちなみに「学習」は、学問(知識や技能)を習うという意味です。大学での学びは、「学修」であるとされています。(文科省.2012)



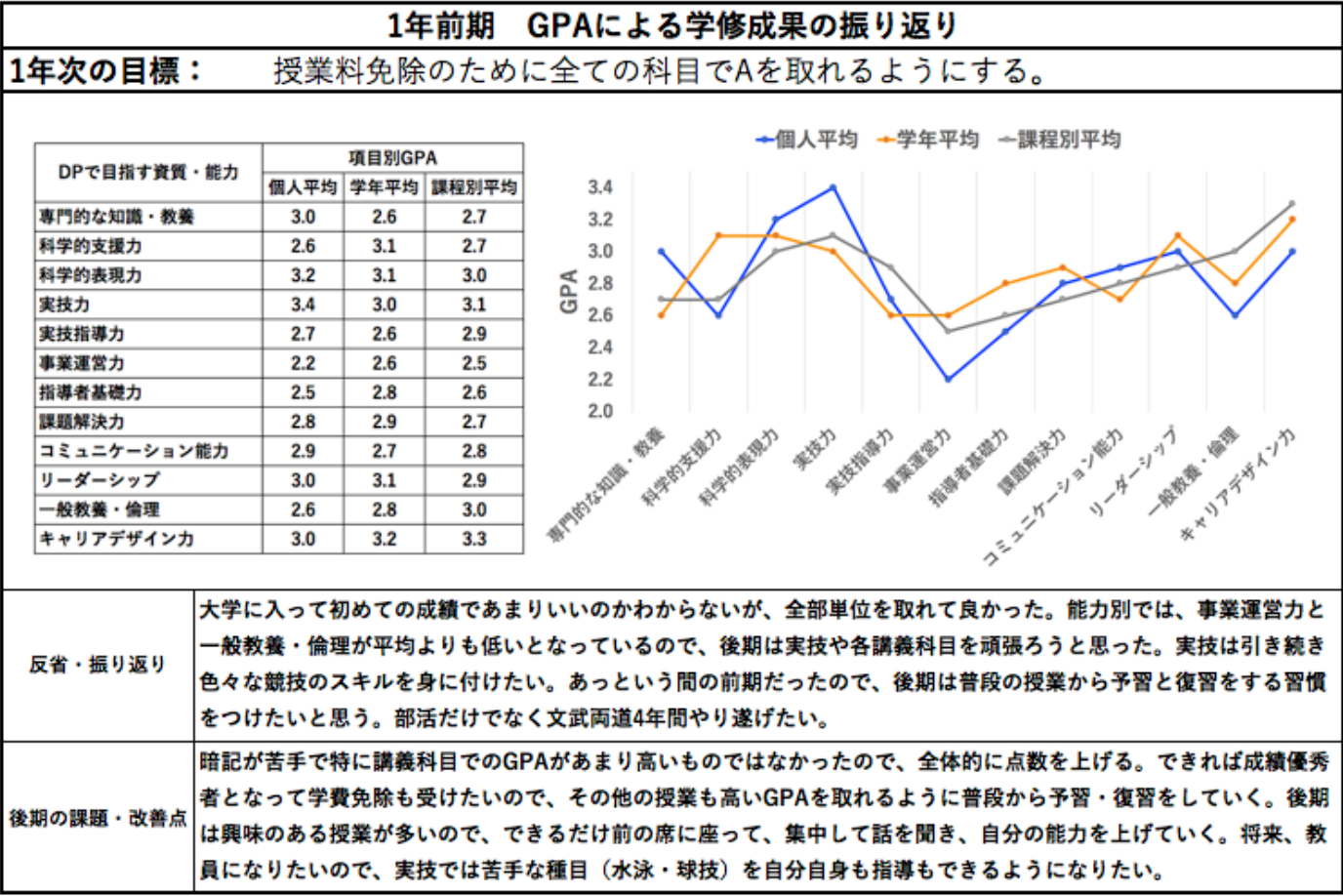
学修(主に授業)のPDCAサイクル

一目でわかる！？ 大学で身につけた資質・能力の可視化

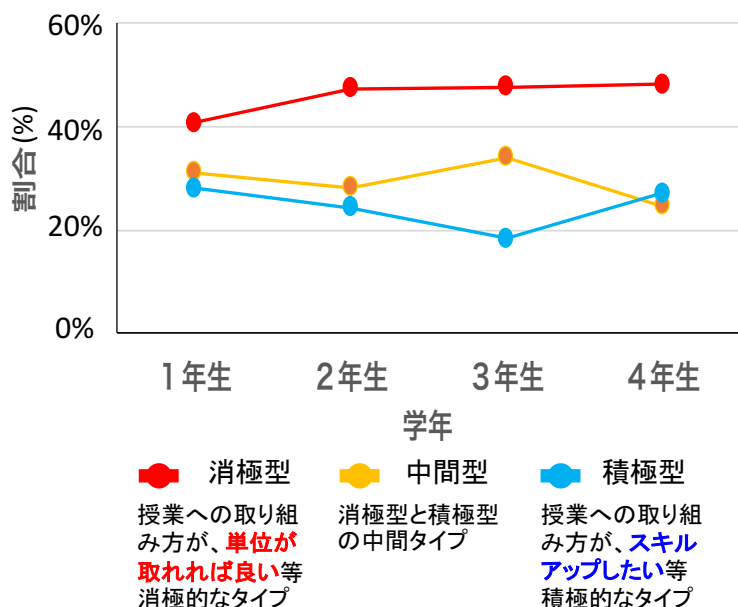
これまでの成績通知書では、科目群毎にGPAが見れるようになっていましたが、来年度から卒業時までには身につけるべき12の資質・能力別にもGPAが表示されるようになります(予定)。授業を通して身につけた資質や能力が明らかになり、何が身につけていて何が足りないのか一目で判断できるようになり、振り返り(Check)が簡単にできるようになります。これに加えて汎用的能力や実践的スポーツ指導力も可視化していきます。



学修ポートフォリオ：成長の振り返りと展望



授業への取り組み方：2年生・3年生が鍵!?



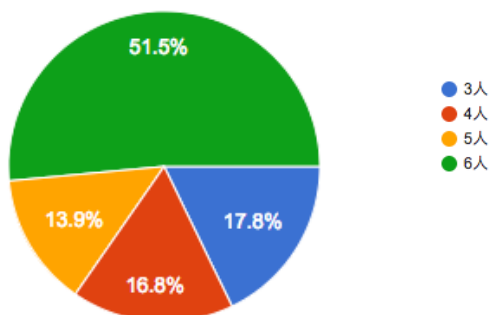
左の図は、本年度始めに時間外学修時間のアンケートと同時に実施した「授業への取り組み方に関するアンケート」の結果をまとめたものになります。結果は、**授業への取り組み方が「消極的な学生が全体的に多い」**結果となりました。また、授業に積極的な学生も2年・3年と学年が上がるにつれて、全体の割合が減り、4年生で増えるという結果になりました。2年・3年と学年が上がるにつれて大学生活に慣れて、授業に対する姿勢が怠惰なものになっている可能性があります。皆さんはどうでしょうか。4年生で再び積極的な学生が増えるのは、卒論や就職活動が始まるからだと考えられます。1～3年生は、自身の授業に対する取り組み方がどんどん消極的になっていないか、以前と比べて見てください。

アンケートの結果とお願い

前回のVol.1を読んでいただき、アンケートに答えてくれた学生の皆さんありがとうございました。8割近い学生の皆さんに読んでいただき、現在行われている大学の教育改革について興味を持ってもらえたようです。バラランの数の正解は**6人**です。約半数の人が正解という結果でした。今回のVol.2でもバラランが何人いるか探してみてください。今回と前回の両方のアンケートに答えてくれた(バラランの数も正解している)学生の中から抽選でクオカード(500円分)をプレゼントいたします。適当に回答するとわかりますので、しっかりとアンケートに答えるようにしてください。少しでも大学の教育改革に興味を持ってもらえると幸いです。また、大学の教育改革についてもっと知りたい、携わりたいという学生の方がいましたら是非、教育企画・評価室まで足を運んでください。

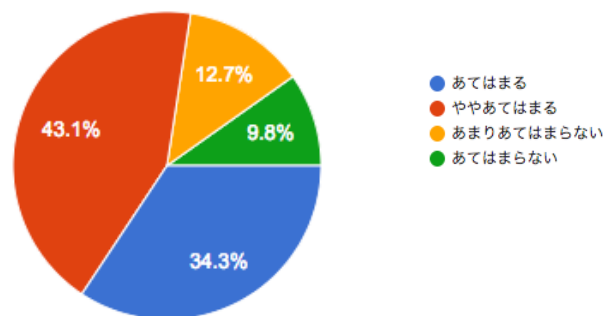
NIFS-AP Newsの中でバラランは何人いるでしょう

101 件の回答



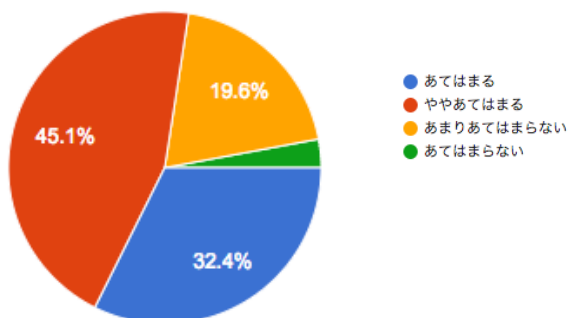
「NIFS-AP News」を全て読みましたか

102 件の回答



大学の教育改革について興味を持つことができた

102 件の回答



<発行>

鹿屋体育大学 教育企画・評価室

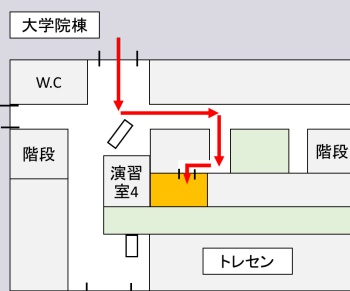
〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
大学院棟1階

TEL&FAX: 0994-46-5082

E-MAIL: kyomu-ap@nifs-k.ac.jp

<企画・編集>

濱中 良・近藤亮介・岡田あゆみ・金高宏文



教育企画・評価室のHPも更新されているのでご覧ください



<http://ap.nifs-k.ac.jp>